

= Match Report =

平成29年度 第96回全国高校サッカー選手権大会栃木大会

決勝

2017年 11月 4日 (土)

13:02 kick off 会場(栃木県グリーンスタジアム)

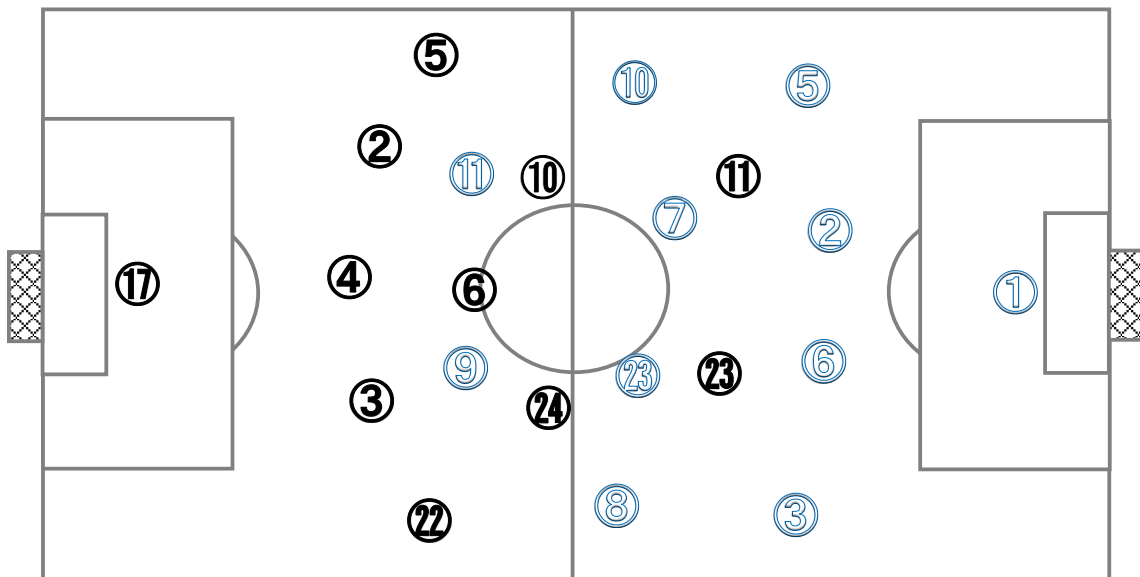
佐野日本大学高校

. vs

矢板中央高校

0	0	-	2	3
	0	-	1	
	-	-	-	
	-	-	-	
	-	-	-	
	PK			

佐野日本大学高校		矢板中央高校
基本システム 1 - 3 - 5 - 2		基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

冬の選手権本大会への出場をかけた決勝戦。昨年度代表校の佐野日大が1-3-5-2システム、対する矢板中央は1-4-4-2システムでキックオフした。立ち上がりは両チームともにFWにロングボールをおくり、セカンドボールの奪い合いで主導権争いを行う。徐々にショートパスをつなぐ時間とスペースができてくる中、お互いシンプルにディフェンスラインやサイドからゴール前に配球し、ゴールを狙っていく。前半22分、矢中央はペナルティエリア外左からのFKでDF②高島がタイミング良くヘディングで決め、待望の先制点を挙げる。続く34分、矢中央は右コーナーキックのこぼれ球をDF③内田がミドルレンジからのシュートをタイミング良く決め、待望の追加点を奪った。空中戦の高さとフィジカルの強さが光る矢中央が前半を圧倒した。

突然の雨と風の中、後半が開始した。2点ビハインドの佐日大は立ち上がりから選手交替を行い、前線からのプレスと堅守からの速攻でゴールを目指す。対する矢中央はしっかりとしたブロックを築き、ゴールを死守する。51分、佐日大FW⑩篠原がペナルティエリア内で積極的な仕掛けからPKを獲得したが、矢中央GK①山梨の好セーブにあい得点することができなかった。対する矢中央は69分、左サイドからの絶好のクロスボールをFW⑩望月がボレーできっちりと流し込み、試合を決める得点を決めた。最後まで諦めない佐日大もカウンターやセットプレーでチャンスを見出すが得点を奪えない。80分間、リスクマネジメントを徹底した矢中央が3-0で快勝し、2年ぶりの全国を手にした。両チームともに80分間走り続けるスタミナと精神力は、決勝戦にふさわしかった。

敗れた佐日大は堅守速攻を持ち味に勝負強さを見せ決勝まで勝ち上がった。戦術の徹底ぶりは特筆すべきものであった。勝利した矢中央は高さのあるFWを起点にゴール前を圧倒できる強さと、今大会を1失点のみで防いだチームディフェンスは強固であった。連携により磨きをかけ、全国で昨年度の佐日大の成績を上回る決勝進出を目指して欲しい。

記載責任者 所属(白鷗大学足利高校) 氏名(加藤 成信)